

施設情報

入居相談などお気軽にお問い合わせ下さい。

詳しくはWeb「[ウェルケア伊豆高原](#)」で今すぐ検索!!



納涼祭

8月30日に、恒例のウェルケア伊豆高原納涼祭を開催いたしました。毎年、市内のフラダンスチームの方々のステキな踊りを観ながら、晩夏に思いを寄せていましたが、今年は、お声かけすることもできずに残念でした。

盆踊りの定番「炭坑節」をバックミュージックに、会場の食堂に三々五々集まっていたいただきました。そして、フラダンス鑑賞に代わる催しとして、夏祭りの夜店の定番「金魚すくい」を模した「お魚釣りゲーム」を行いました。8月のレクリエーションの時間を使って、ご入居者の皆さまとご一緒に、カラフルなお魚やお池を作ってきました。その間にプレお魚釣り大会も開催して、事前にその出来栄を皆さんで確認して、納涼祭当日を迎えました。

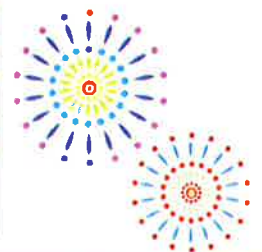


ルールは簡単で、2チームに分かれて、炭坑節の2パートの時間の間に、たくさんのお魚を釣るのを競うものでした。また、お魚の数だけではなく、大きささまざまな大きさのお魚は、それぞれ異なったポイントに分かれていて、勝敗は、そのお魚のポイントの合計で決めました。

夜店のヨーヨー釣りに似ていて、すぐにコツをつかんだご入居者の方々は、難なく次々とお魚を釣っていました。お池の周りをご入居者の方が囲み、嬉しそうに、また、ちょっぴり恥ずかしそうにはしゃがれて、お魚釣りゲームを楽しんでいただきました。結果は、481対381の大差がつかきましたが、勝っても負けても、賑やかさを楽しんでいただけたようです。



そして、イベント恒例のこの日のおやつは、「バニラアイスクリームのイチゴソースがけトッピングチョコレート」でした。三重甘味で、とっても甘い、そして、とっても冷たいアイスクリームをおいしそうに召し上がっていらっしゃいました。また、おやつを召し上がっていただきながら、盆踊りの定番、東京音頭と炭坑節を食堂に流し、ご入居者のそばで職員が踊りを披露いたしました。途中からは、ご入居者の方々もご一緒に踊っていただき、また、イスに座ったまま手の動作でも踊っていただき、皆さんと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。納涼祭が終わって、お部屋に戻るときに、「今日はとっても楽しかった。」とおっしゃっていただき、職員もとてもうれしく思いました。



高校生が来館しました！



8月21日の午後、地元の静岡県立伊東高校の1年生3人がウェルケア伊豆高原に来館しました。学校の総合学習にフィールドワークというのがあり、今回は、「高齢者が住みやすい街」というテーマで、こちらにいらっしゃいました。特に、認知症予防について詳しく知りたいというお話しでした。施設の概要や入居者の暮らしぶりについて、質問を受け、生活相談員がお答えしました。また、認知症が発症するまでの経過や日常生活での支援については、詳しくお答えしました。ユニバーサルデザインについての質問があり、居室の扉やトイレなどの構造や、実際に車いすに乗り体験もしていただきました。最後に、生活相談員から、「おうちや街中で、高齢者の方や困ったことを持っている方に、心を止めてほしい。」とお伝えしました。

令和2年度運営懇談会



8月20日に、ウェルケア伊豆高原運営懇談会を開催しました。ご入居者やご家族の方が5名と、対島地域包括支援センター管理者の土屋康美さんにお越しいただきました。当施設からは、施設長の葛城、生活相談員の池田と蛸原、介護主任の鈴木が出席いたしました。また、今回は、ソーシャルディスタンスを保てるように座席を配置し、開催いたしました。

内容としては、現状とこの1年間の施設の様子をご報告いたしました。施設で開催したイベントを紹介しながら、外部ボランティアや絵手紙の講師を招くことが難しくなったことや、施設職員手作りのイベントが続いていること、ご入居者の楽しみが減ってしまったことなどをご報告いたしました。また、新型コロナウイルスに関するウェルケア伊豆高原が行なった対策と、新たに夜間看護体制加算と医療機関連携加算を取得し、今後、看取り加算などの取得を検討していることをお伝えしました。

質疑応答では、家族が県外に住んでいる場合の看取りはどうなるのかという質問があり、居室などでの泊り込みや近隣の葬儀場の紹介などを行っているとお答えしました。また、新型コロナウイルス関連では、都市部では、介護施設の職員が優先的にPCR検査を受けられるような施策があるが、こちらはどうなっているのかという質問があり、伊東市内ではクラスターも発生しておらず、感染者数も著しく多い状況にないこともあって、そのような具体的な施策はまだないとお答えしました。



最後に、対島地域包括支援センターから、終活講座を開催すること、認知症サポーター養成講座のこと、伊東市民病院の認知症疾患医療センターのことについて、ご案内がありました。また、地域のよろず窓口として、対島地域包括支援センターを紹介されました。特に、「認知症サポーター養成講座」については、ちょっと手助け「応援者」をこの地域でもっと増やそうとされているそうです。10月1日に、伊豆高原十字の園で開催されますので、参加されてみてはいかがでしょうか。

9月の予定

16日(水) 三島信用金庫来館
23日(水) 移動美容室はしば来館
27日(日) 敬老会
毎週水曜日 ナガヤ買物
2・9・16・23・30日
毎週土曜日 こんがりあん移動販売
5・12・19・26日
毎週日曜日 休浴日

編集後記

長かった梅雨が明けたと思ったら、すぐに酷暑になりました。陽気の差が大きく、体がついていけず、朝になっても疲れが取れない日が続きました。体が慣れたのは下旬になってからでした。その間、日中に外出した時、頭痛と吐き気をもよおしたことがありました。気を緩めて水分を摂らずにいたことに気づき、あわててスポーツドリンクを買って飲みました。こんなにも簡単に熱中症になってしまうものかと実感しました。さて、短い夏休みにお盆とありましたが、例年に比べると、人出はとても少なく、ひどい渋滞もありませんでした。「よそから人が来ると怖い」と話す人もいて、同じように思う反面、自分なりの楽しい暮らしを見つけ慣れたいとも思います。(M)